

医療現場における

6 R ①

与薬のチェックと手順

1 与薬と6R



確認や管理
服薬指導
直接的な与薬の実施
実施後の観察など

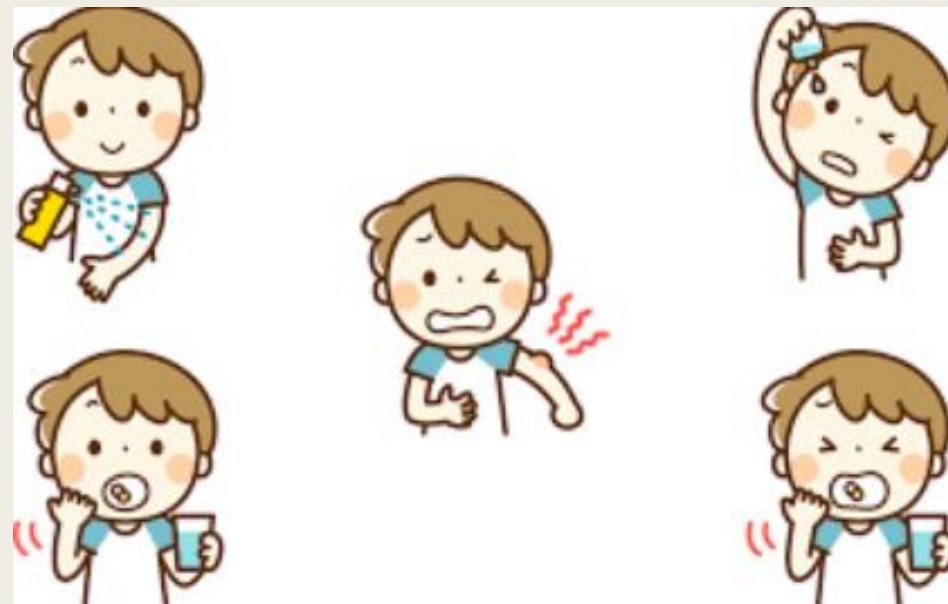
重要な役割

効果は？副作用は？



注射法以外の主な与薬経路の種類

経口内服薬、口腔内薬、直腸内薬、点眼薬など
そのほか貼付剤、吸入剤、塗布・塗擦剤など



与薬時のエラーを減らすための対策

指差し、声出ししながら6項目について**Right**つまり正しい事（6R）を確認すること

与薬指示受け時・与薬準備時（この間、更に3回）・与薬直前など各段間で確実にを行う

2人以上の目で確認（ダブルチェック）

何かおかしいと感じたときは**必ず立ち止り、確認や相談を行う意識を持つ**ことも重要

2 6Rとは

• Right Patient	: 正しい患者
• Right Drug	: 正しい薬
• Right Purpose	: 正しい目的
• Right Dose	: 正しい用量
• Right Route	: 正しい用法 (経路)
• Right Time	: 正しい時間 (投与時間)



「かん、じ、よう、りょうほう、やく、もく」
「患、時、用 (量法)、薬、目」

◎ 正しい患者（Right Patient）

- ・ 患者確認は、同姓同名の患者との誤認を防ぐため氏名、生年月日、IDなどで確認。
- ・ リストバンドによる照合や患者自身にフルネームを名乗ってもらう確認方法が有用。
- ・ 看護師から「〇〇さんですよね」と言わない。
患者は名前が違っていてもとっさに返事をしてしまう場合もあるため危険。

※ベッドネームでの確認も、違う患者さん（認知症などで）が寝ている場合もあるため注意